

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

# 楽らく遊ゆう学がく

第301号

2022(令和4)年10月  
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

## 特集

家事(ジ)も育児(ジ)もビジネスも  
「男の3Gプロジェクト」



(男の3Gプロジェクト 収穫体験(8月))

- P.2 特集「男の3Gプロジェクト」
- P.3・4 「わがまち港北」スポット 地域防災施設 鶴見川流域センター
- P.5 遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)  
『港北区グループ・団体ガイド』登録の会員募集
- P.6 区民活動支援センターからのお知らせ

「港北区地域の子カラ応援事業(地域元気づくりコース)※」の申請団体の一つ「男の3Gプロジェクト」。  
家事、育児、ビジネス、のすべてに含まれる「ジ」の音を3つ合わせて3G(スリージー)ということです。  
実は男性は家事や育児、そして地域活動の側面に高い潜在能力がある！ということ。家庭も仕事も地域も、  
そして自身の人生も発展していく男の3Gプロジェクトの活動について、代表の黒須さんにお話をうかがいました。

## 地域社会と人生の活性化を図る

### 地域社会に人脈がひろがる『男の料理教室』

始まりは、世の中にまだ「在宅勤務」の概念も「イクメン」という言葉もなかった2005年、自身の起業をきっかけに、出勤する妻に代わって日中の家事、育児と、ビジネスの同時進行が始まったことでした。保育園の送り迎えでお母さん達とのつながりもでき、それまで寝に帰るだけだった地域に知らない世界(コミュニティ)があったことを発見したといいます。女性の社会進出と男性の家事・育児・地域参加のギャップを目の当たりにし、また定年後の男性の地域参加が課題になっていることも気になり、男性にそれらに参加する場を提供する活動として、2019年「男の3Gプロジェクト」を立ち上げました。中でも料理は、家事・育児には欠かせないスキルであり、食べる時には、家族をねぎらったり友人と語らったりと、人と人のつながりをつくるものでもある、という着想から、地域の男性向けに『男の料理教室』を実施します。子どものつながりから、野毛でイタリアンレストランを営むプロの料理人の浅賀さんが同じ自治会であったことが分かり、料理教室の講師を引き受けてくれることに。20代～70代の男性が集まり、また女性の参加もOKにして、皆で作って皆で食べるという機会を重ねるごとに、地域に顔が繋がっていく手ごたえがあったといいます。



パパ友の  
黒須さん(左)と  
浅賀さん(右)

### 男の3Gプロジェクト

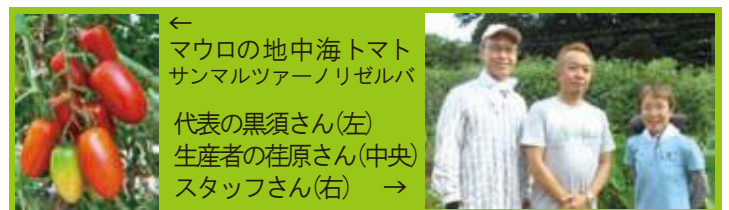
[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/3gproject/](https://peraichi.com/landing_pages/view/3gproject/)

料理教室を手伝ってくれるシェフ、  
畑を提供してくれる農家さん、大歓迎です！



### コロナ禍で迫られた、つなぎ直しの『収穫体験』『BBQ』

順調だった料理教室でしたが、折からの新型コロナウイルス感染拡大の影響でリアルでの実施が難しくなり、2020年に「ライブキッチン」としてオンラインでの実施に切り替えます。オンラインでは調理の手順はとても分かりやすいと好評でしたが、人と人がつながる要素は乏しくなっていました。また感染が下火になっても家から出ないスタイルが生まれていることも気になり、とにかく皆に地域に出てきてもらうこと、地域社会へのつなぎ直しの必要性を強く感じたそうです。地元の日吉地区は普段暮らす駅近の繁華な街から少し移動しただけで、緑豊かな<sup>ひろの</sup>広野に出ることができます。この立地を生かし、マイクロツーリズム(自宅から小一時間の移動で安全安心に楽しめる観光)の切り口で、地域の保育園・幼稚園等の親子や、これまでの料理教室の参加者に向けて、屋外活動であるミニトマトの『収穫体験』を企画・実施しました。料理教室も、ライブキッチンから屋外バーベキューへと形式変更し、人と人の関わりを復活させました。



←  
マウロの地中海トマト  
サンマルツァーノリゼルバ  
代表の黒須さん(左)  
生産者の荻原さん(中央)  
スタッフさん(右) →

収穫体験の原型は事業のESG(環境Environment・社会Social・ガバナンスGovernanceを重視した企業戦略)でした。地域には、個人、家族、農家、農産物、企業、商店、商品、学校、行政等々、一つ一つの資源があり、各々に価値を持っています。それらが縦横無尽につながることで、新しい機能や課題解決への糸口も生まれるのではないかと、例えば「港北区地域の子カラ応援事業」への応募によって行政とのつながりができたことで、活動がひろがった、という黒須さん。「男の3Gプロジェクト」の特徴でもある複眼的な立ち位置で、人と地域の活性化が続いていくことを目指しています。

※「港北区地域の子カラ応援事業」は、新しい生活スタイルの提案を盛り込んだ皆さんのアイデアや思いを活動につなげ、地域まちづくりや地域住民を元気にする、活動団体の取組を応援します。(地域元気づくりコース他、既に募集を終了したものもあります。)

詳しくは▶地域振興課地域力推進担当 TEL 045-540-2247 まで



暴れ川と呼ばれた鶴見川。台風や大雨で度々氾濫し、町を水浸しにしてきましたが、昭和55年から始まった鶴見川流域総合治水対策により、一時的に水を溜め水害を防ぐ鶴見川多目的遊水地が整備されたことで、洪水から人々のいのちと暮らしを守る仕組みが整えられてきました。

今回の「わがまち港北」スポットでは、地域の治水・防災・自然を学ぶ施設として、鶴見川と鶴見川多目的遊水地を見守るように建つ「地域防災施設 鶴見川流域センター」をご紹介します！



鶴見川流域センター外観

住所:横浜市港北区小机町2081  
 電話:045-475-1998 FAX:045-475-1999  
 開館時間:午前10時～午後5時  
 休館日:毎週火曜日及び年末年始  
 その他館内設備点検日等(不定期)  
 交通:JR横浜線「小机駅」下車 徒歩6～7分

公式ホームページはこちら

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00490.html>



## 総合治水対策から鶴見川流域水マスタープランへ

地域防災施設 鶴見川流域センターは、2003(平成15)年9月、鶴見川流域水マスタープラン(水マス)の普及を目的として開館した全国的にもとても珍しい施設です。

展示パネルや流域衛星写真、3D立体地図などを使い、鶴見川多目的遊水地の説明をはじめ、鶴見川流域全体の治水・自然環境・歴史・水辺の活動等の情報発信や総合学習、水生生物の観察ができる鶴見川水族館などがあります。2019(令和元)年8月には、来館者40万人を突破！子どもから大人まで、流域学習・流域交流の拠点として利用できる施設です。



### 水マスの5つのマネジメント

洪水時 水マネジメント	流域の連携で水害の危険から暮らしを守る
平常時 水マネジメント	流域の連携で豊かで清らかな水環境を創出する
自然環境 マネジメント	流域のランドスケープ、生物多様性を保全・創出・活用し、自然とふれあえる都市を創出する
震災・火災時 マネジメント	水系を利用して震災・火災時の危険から下流の街を守る
水辺ふれあい マネジメント	河川とのふれあいを通じて、流域意識を育む うるおいのある暮らしを実現する



鶴見川の生きものが出迎えるエントランス

1980(昭和55)年から始まった鶴見川総合治水対策は、「治水」に着目した対策で、水害には効果があったものの、鶴見川をとりまく様々な問題(川の汚れや自然地の減少、防災、流域の人々と川のふれあいの減少)などをカバーするものではなかったため、これら課題を解決するには、流域全体で取り組んでいくことが重要と考えられるようになり提案されたのが「鶴見川流域水マスタープラン(水マス)」です。

## 鶴見川多目的遊水地とそこに生息する生きものを家族で学ぶ夏休みイベント

毎年恒例だった鶴見川流域の自然や生きものを学ぶ夏休みイベントも、コロナの影響でリモート開催を余儀なくされた2年間でしたが、今年は、参加人数を大幅に絞り、リアル体験会として復活！「鶴見川多目的遊水地見学会と鶴見川の生きもの観察(魚編)」と題し実施されました。

鶴見川で生きものをつかまえ観察できるとあり、申込開始たった3分で定員に達した人気ぶり。鶴見川流域への関心の高さがうかがえました。



川に入る前に説明を聞く参加者

数日前に降った雨の影響で、水かさが増した鶴見川は流れが速く、足元はでこぼことして急に深くなるため、川の中での歩き方や、もしも流された時のポーズなどの説明を受けた後、足元を確認しながらゆっくりと入水。思っていた以上に水は澄み、冷たいことにびっくりしました。



タモ網を手に大人も子どもも“ガサガサ”に夢中！

取材当日(7/18)は、アユ、ヌマエビ、モズクガニ、ヤゴや絶滅危惧種に指定されているギバチの稚魚などを採取。捕れた生きものは、種類別に観察と解説があり、記録写真を残してから鶴見川にリリースされました。

※「ガサガサ」とは、川の生き物をタモ網でつかまえることの通称です。

## 鶴見川流域水マスタープラン(水マス)連続講座を開催(リモート学習会)



今年の7月からZoom生配信という形式で始まった「水マス学校」は、鶴見川流域を学ぶ全6回の連続講座です。

各回ごとのテーマに合わせ、スペシャリスト(先生)がゲスト(生徒)に語る内容は、ここでしか聞くことができないと好評です。

Zoom配信当日参加及び見逃し配信希望は、以下フォームまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/7aGtqB6CpoPzXbVm6>



申込はこちらから

今後の予定(時間:各回午後7:30~9:30)

● 第5回 10/26(水)

関東大震災から99年～イザというときの備え～

● 第6回 11/25(金)

子どもたちを地球につなぐ～センスオブワンダー～

※プログラムは変更になる場合もあります。

鶴見川流域水マスタープラン(水マス)とは…急激な都市化が原因といわれる水害や水質汚染、森や緑地の減少などの様々な問題を解決するために平成16年に策定。都市の暮らしが原因で失われてしまった「健全な水の循環」を取り戻し、鶴見川流域を水害のない、安全で、川辺や街に多様な生きものがくらすことができる、市民・市民団体・企業・行政が連携して実施する施策です。



## 鶴見川流域ネットワーク(TRネット)の活動とは

バクの姿の流域地図を共有しながら流域規模の市民連携をすすめ、《安全・安らぎ・自然環境・福祉重視の川づくり・まちづくり》をとおして、持続可能な未来を開く新しい流域文化の育成を目指す、流域市民団体の交流・連携活動(ネットワーク活動)です。

TRネット活動は、連携鶴見川流域ネットワーク(連携TRネット)と、NPO法人鶴見川流域ネットワーク(npotrネット)の協働により進められています。

鶴見川流域ネットワーク(TRネット)

<https://www.tr-net.gr.jp/>





# 遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2022(令和4)年8月28日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

## 港北ボランティアガイドの会

### ①「幕末の神奈川宿と浦島太郎伝説」(約4.5km)

日時:11月29日(火) 集合 9:30 京急東神奈川駅

### ②「初冬の旅 九品仏から等々力溪谷へ」(約6.0km)

日時:12月8日(木) 集合 9:30 東急東横線自由が丘駅

定員:①50名 ②30名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:①②500円(保険料含)

申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに①「神奈川宿」②「九品仏」・

〒住所・氏名・電話・参加者全員の氏名フリガナ・年齢を記入の上、  
区民活動支援センターへ ①11月14日(月) ②11月24日(木) 必着

問合せ:港北ボランティアガイドの会<https://kouhokuvg.yokohama/>

## 港北図書館友の会「読書サロン」

① 10月23日(日) - 読書の秋 - 「自分の好きな本・作家」

② 11月27日(日) 「気象・気候と文学」

時間:各回13:30~16:30 参加費:無料

会場:港北図書館2階会議室 当日直接会場へ

問合せ:事務局 TEL 423-2223(八木クリニック内)



## 港北童謡の会

生の音楽にふれ、一緒に心とむひとときを過ごしませんか?

① 10月18日(火) 竹内雅拳先生

② 11月22日(火) 鶴飼文子先生

時間:各回14:00~16:00 会場:港北公会堂

参加費:900円/回 事前申込不要 当日直接会場へ

問合せ:はかりや TEL 070-5556-1491



## 大倉山ジョイフルコンサート

### 都築 惇(つづき じゅん)サクソフォン・リサイタル

2種のサクソフォンで描く美しき世界をお届けします。

日時:11月20日(日)14:00開演(受付開始13:30)

会場:港北公会堂

入場料:大人・高校生2,000円 中学生以下1,000円

(全席自由)未就学児入場不可

申込:予約専用電話 TEL 080-8424-5108

HP:<https://www.ohkurayama-joycon.com>

※ 要予約(予約開始:9月19日9:00から)



## 神奈川区いまむかしガイドの会「神奈川歴史散歩」

①10月22日(土) 三会寺(約4.5キロ)JR横浜線小机駅集合

②11月5日(土) 新コース 堀割川・市電保存館(約5キロ)市営地下

鉄阪東橋駅集合③11月16日(水) ゆっくりコース 関内の建物

(約2.5キロ)JR関内駅北口改札口集合④12月3日(土) 蒔田・

弘明寺(約5キロ)市営地下鉄蒔田駅集合

集合①②④8:30~9:00 ③9:30~10:00 解散12:00~12:30

定員:約100名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:①③④500円(保険料含)

②700円(市電保存館入館料<団体>も含む)

申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに 開催日・コース名

〒住所・氏名・電話番号・参加者全員の氏名を記入の上、

〒221-0802 神奈川区六角橋1-10-11

すべーすろっかく内「NPO法人 神奈川区いまむかしガイドの会」

締切日:各コース開催日の15日前必着

問合せ:長谷川 TEL 090-8817-0001

## 鈴木敏城先生(臨床心理士)講演会

心身の病に悩む方とそのご家族を対象に、「悲しみがあっても幸せになれる」をテーマに開催します。

日時:10月9日(日)14:00~15:30(開場13:15)

会場:スタジオ音楽の杜(菊名6-21-30 リュージュ ノール2階)

定員:50名 参加費:無料(要予約)

申込・問合せ:事務局 045-401-1653(齋藤医院内)

## 薬膳健康づくり研究会 公開講座「生薬と漢方薬を知ろう」

未病対策としての漢方薬の成り立ちや選び方、服用方法などのお話を伺います。

日時:10月22日(土)14:00~16:00(開場13:30)

会場:横浜市社会福祉協議会 横浜市社会福祉センター4階

講師:緒方 千秋先生(北里大学東洋医学総合研究所)

定員:200名 参加費:1,500円

参加方法:①会場 ②録画視聴 締切日:10月12日(水)必着

申込方法:①HP:<http://yakuzenkenko.org/>

②HPから申込フォーム 入金確認後、詳細通知

問合せ:青木 TEL 090-7714-0180

## 『港北区グループ・団体ガイド』登録の会員募集

### SOW(そう)

不登校など、学校へ行きづらさを感じている子とその親のための居場所を開催しています。新規参加者募集中です。子どもたちと一緒に遊んだり、楽しんでくれるボランティアも募集しています。

①親子の居場所(小中学生とその保護者)

活動日時:毎週火曜日10:00~14:00

活動場所:COCOLしのはら

参加費:子どものみ/親子1組600円 大人のみ300円

②親の会(子育てのアイデアを共有し合うお話し会)

活動日時:毎月第1日曜日13:00~15:00(1・8月を除く)

活動場所:篠原地域ケアプラザ 参加費:300円

問合せ:小嶋 メール [sow.yokohama.2021@gmail.com](mailto:sow.yokohama.2021@gmail.com)

## 小机城のあるまちを愛する会

### 「チャンバラ合戦-戦 IKUSA-小机城冬の陣2022」

スポンジ製の刀で、みんなで楽しくチャンバラをします。

ご参加をお待ちしています。

日時:12月4日(日)13:00~15:00

場所:小机城址市民の森東廓(ひがしぐるわ)

参加費:無料



参考動画

## 「遊学スポット」掲載希望の方へ 次号は302号(2022年12月発行号)です

「遊学スポット」ならびに「登録グループからの会員募集」の次号(302号)原稿締切は**10月28日(金)**です。

詳しくは区民活動支援センターまで!

# 区民活動支援センターからのお知らせ

## 「港北地域学」講座 ～もっと学ぼう！港北区のあれこれ～

自然環境と歴史に育まれた港北区。港北区の成り立ち、特性など様々に学ぶ講座です。

### 第1回 よこはま縁むすび講中（こうじゅう）って何？

かやぶき屋根プロジェクトとは？ ※講座終了後、大塚・歳勝土遺跡に移動して説明があります。

日時:11月26日(土) 13:30～15:30

会場:横浜市歴史博物館講堂

定員:50名

講師:橋口 豊氏・羽毛田 智幸氏(共に学芸員)

※応募者多数の場合は抽選

共催:横浜市歴史博物館

申込:10月25日(火)～11月18日(金)



かやぶき屋根体験の様子



応募フォームは  
← こちらから

## 花と木のウォーキングツアー

### 第3回 インストラクターと歩く綱島の森（行程:約2.0km）

森林インストラクターから、秋の植物や木の名前などを学びながら、綱島市民の森・綱島公園を歩きます。今まで気付かなかった自然にふと足を止め、五感を研ぎ澄ませて秋を全身で感じてみませんか。



綱島市民の森 檜(ひのき)林

実施日:10月28日(金) 集合時間:9:30 集合場所:東急東横線綱島駅改札(東急ストア前)受付は9:20から行きます。参加費:500円(保険料等) 募集人数:20人(応募多数の場合は抽選)

応募方法:応募フォームまたは往復はがきに①ツアー名「花と木3」②〒住所・氏名(フリガナ)、複数人の場合は全員の氏名(フリガナ)・年齢・電話番号 ③返信用に住所・氏名を記入の上、区民活動支援センターへ 応募締切:10月18日(火)必着



応募フォームは  
← こちらから

## グループ・団体のための「つながるカフェ」

### 第1回 音楽がつなぐ場づくり

日時:11月28日(月) 13:30～15:30

会場:港北公会堂2号会議室

参加費:無料



アドバイザー

はかりや たまえ

計屋 珠江 氏

(港北童謡の会代表)

参加者募集中!



応募フォームは  
← こちらから

## 「港北区グループ・団体登録」をしませんか？

区民活動支援センターでは、おもに区内の公共施設を会場として、さまざまな分野で活動しているグループや団体を、区民活動支援センターのホームページおよび窓口や電話による案内で紹介しています。

仲間を増やしたい！地域や他団体、施設などと連携したい！などとお考えのグループ・団体の方は、情報を登録してください。※政治や宗教、営利を目的とする活動団体は除きます。

登録すると「楽遊学」の会員募集コーナーをご利用いただけます(年1回)。

横浜市の電子申請・届出システムの利用で、登録作業が簡便になりました！インターネットをご利用でない団体の方や、ご不明の点は、区民活動支援センターまでご連絡ください。



情報登録は  
← こちらから

## ご意見ご感想をお寄せください

いつも「楽遊学」をご覧いただきありがとうございます。  
内容についてのご意見・ご感想、お気づきの点など、支援センターまでお寄せください。

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

港北区区民活動支援センター

検索

★開館時間★

月～金曜 8時45分～17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

